水田雑草対策を徹底しましょう！

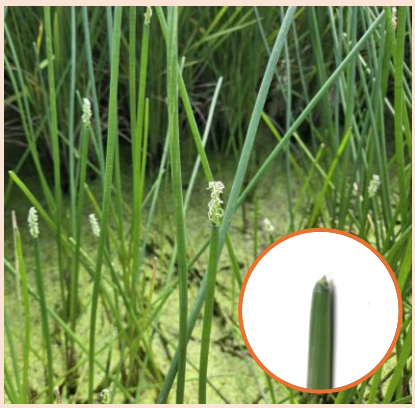
諏訪農業農村支援センター・JA信州諏訪

・雑草は水稲の生育を阻害し、**収量低下**の原因となります。
・雑草種子が収穫物に混入し、**品質低下**の原因となります。
・雑草が**害虫の発生源**となったり、農作業の障害になります。

問題となる主な水田雑草



ホタルイ



クログワイ



オモダカ
矢じりのような葉の形



シズイ
茎の断面が三角形

ホタルイとクログワイの見分け方

・**ホタルイ**
茎の先端が**尖っている**
茎が**外側に反って**出る　**種子**から発生する

・**クログワイ**
茎の先端が**丸く**、内部に節があり茎を押すと**ぷちぷち**音がする　**塊茎**から発生する

雑草防除のポイント

① 適期散布
雑草の種類・生育ステージに合わせ、初期・初中期(一発処理)・中期・後期剤を組み合わせた「体系処理」で確実に抑える。

② 適切な水管理(湛水散布用)
十分な水深を確保し、最低3日間は止め水管理する。
※1週間の止め水管理が望ましい

適切な散布タイミングと水管理で除草効果を高めましょう！！

雑草イネにご注意ください！

ご自身の田んぼのお米に、右写真のような**赤い玄米**が混じっていませんか？

これは **雑草イネ（赤米）** です。

対策を行わないと**急速に拡がり**、
水稲栽培が困難になります。



「赤米」が混入した玄米

雑草イネの問題点

① **等級低下** ⇒ 異品種混入とみなされ、**品種名の記載が不可**になる。

② **減収** ⇒ 最大で**25%**の減収。

③ **高い雑草性** ⇒ 脱粒しやすく、**土中で３年間生存**する。

④ **防除コストの増加** ⇒ 除草剤**３剤体系**による防除が基本となる。

見分け方のポイント



籾の先端が赤い



草丈が高い



条間・株間から発生

雑草イネの対策

・雑草イネに有効な除草剤を用いて、**３剤体系**による防除を実施する。
・株ごと抜き取ってほ場外に持ち出し処分する。
・機械による拡散を防止するため、**発生ほ場の作業は最後**にする。
・種子の死滅や鳥の捕食を促すため、**秋起こしを実施しない**。

雑草イネかもと思ったら
右記へご連絡ください

諏訪農業農村支援センター　技術経営普及課
TEL：０２６６-５７-２９３１
もしくは最寄りのJA営農センターへ